

担当課	介護保険課地域包括ケア推進室				
基本理念	2 共生するまち		基本方針	(4) 理解しあって支え合う	
施策項目	⑧ 地域共生社会の実現				
事業名	とびうめネット推進事業				
事業概要					
福岡県・福岡県医師会・京都医師会・行橋市・苅田町・みやこ町において協定を締結し、住民が受けた医療・介護・健診情報の一部をネットワークを通じて共有することにより、適切かつ迅速な医療の提供と円滑な入院支援を行う。					
事業の進捗状況	その理由（課題あり、廃止検討中を選択した場合は記入してください）				
課題あり	施設入所者の登録率の低さ				
R6当初予算（千円）	R6決算（千円）	R6職員給与（千円）	R7当初予算（千円）	R7特定財源（千円）	R7一般財源（千円）
1,121	704	0	202	0	202
成果指標名			R5（目標）	R6（目標）	R7（目標）
			0	2,000人登録	
とびうめネット登録者数			R5（実績）	R6（実績）	R7（実績）
			0	2,072人登録済	3,000人登録
R6年度の取組み及び評価					
R6.8関係機関で協定締結のうえ、とびうめネット登録受付を開始。高齢者相談支援センター職員の訪問等により、従来のあんしん情報セット配布対象者の3割超に登録いた					
今後の改善点					
住宅型有料老人ホーム等入所者の登録率が全体の1割程度と低い水準であることから、登録促進のための働きかけを行っていく。					

意見記入表

委員意見
<p>住宅型有料老人ホーム等入居者の登録率が低い（全体の1割程度）理由を明確にした上で、当該施設の強みをアピールすること、例えば広報活動や見学対応、地域連携等の多角的な戦略を実行することや、一人一人のニーズに合った利用選択ができるように利用者視点での情報提供を行っていくことが大切だと思います。また、入居者が要介護状態となった場合、利用者やその家族が適切なサービス選択が可能となる支援体制を整えることも必要だと考えます。</p>
<p>身内が当システムに登録していますので、利便性や有効性はよくわかります。掛かりつけの病院から紹介、説明を受けたのですんなりと登録できましたが、まだまだ広報が必要だと思われれます。特に登録医療機関の数を増やすことが肝要かと思えます。</p>
<p>施設入所者の登録の低さを課題としていますが、施設と施設入居者は、常に個人情報把握しており、緊急時には対応が可能であり「とびうめネット」の登録には必要性は感じてないように感じます。それよりも一人で住まいる独居老人に対し重点的に推進する必要があるのではないのでしょうか。またこの制度に類似したものとして、「あんしん情報ネット」「マイナンバーカード」などと錯綜しておりそれぞれに集中推進するほうがよいのではないかと考えます。 「とびうめネット」を推進するにしても、令和7年度目標値3,000人は市の70歳以上人口の18%程度では低すぎるような感がありますが。</p>
<p>関係者による医療等の情報の共有化は事業の効率的な実施のためからも重要である。登録が進まない理由は何か。進めるための具体的な対策について教示願う。</p>

担当課	地域福祉課				
基本理念	2 共生するまち	基本方針	(5) 地域資源と共生し、活用する		
施策項目	⑪ 持続可能な都市インフラ整備				
事業名	集会所施設整備助成事業				
事業概要					
<p>行橋市内の集会所（現在44箇所）については、そのほとんどが建設より30年以上経過し、維持管理費用についても施設の老朽化とともに今後も顕著な増加が見込まれる。また、類似公民館の取扱いとの公平性からも地元に移管していくのが望ましいと考えられる。</p>					
事業の進捗状況	その理由（課題あり、廃止検討中を選択した場合は記入してください）				
課題あり	集会所の修繕相談等の機会に制度説明を行い、移管協議を行ってきたが、結果として地元の合意が得られず実績0件となったため。				
R6当初予算（千円）	R6決算（千円）	R6職員給与（千円）	R7当初予算（千円）	R7特定財源（千円）	R7一般財源（千円）
5,100	0	1,537	5,100	0	5,100
成果指標名			R5（目標）	R6（目標）	R7（目標）
			1	1	
集会所移管数			R5（実績）	R6（実績）	1
			0	0	
R6年度の取組み及び評価					
<p>今後の方向性や制度改善について、集会所検討委員会を発足・協議を行った。また、区へ意向調査を行い利用実態のない集会所1箇所を解体し、2箇所については用途廃止</p>					
今後の改善点					
<p>助成金制度の見直しを行い、各自治会への説明・周知を行う。また、建築年数の古い集会所から地元協議を行い、移管もしくは用途廃止等の検討・調整も引き続き行う。</p>					

意見記入表

委員意見
<p>集会所は本来地域コミュニティの核です。その地域が移行されても運営が困難というのなら、用途廃止・解体はやむを得ないのではないかと考えます。地元住民の方の意見を十分に尊重するのは当然ですが、稼働率・維持費、他の施設とのデータ比較などコストパフォーマンスをもとに淡々と説明し了承頂いていただかないのではないかと思います。</p>
<p>・事業概要を読むだけでは、「R7の予算」を何に使用するのがわからない。 →今後の改善点では、「移管もしくは用途廃止の検討・調整」とあるが、所有者変更に伴う登記などの費用への補助なのか、解体費用として使用するのか、地元協議の際に関する会議費として使用するのか、5,100（千円）の予算を、何に使用するのが加筆し記載する必要があると思われる。</p>
<p>集会所の移管について地元と再度協議を行い、移管または用途廃止で良いかと思います。</p>
<p>市内44か所の集会所は、利用頻度の低さ等を考えると現在主たる校区には8つの公民館が存在するため集会所機能を集約すれば問題はないように思われ集会所廃止の方向性は間違っていないものと考えます。ただ各集会所はそれぞれの事情と状況が違っており現在市が進めていると思われる一律の方向性で協議しているのでは前進しないし解決の方向性も見いだせないと考えます、また令和7年度戸さん510万円ではすくなく数字上から判断すれば市の本気度が感じられません。よって予算の増額と今後個別ごとの折衝する考えはあるのでしょうか。併せて市街地の集会所土地の評価額も高く建物を意識しても民間に売却すればそれ相応の全体見込予算補填になると考えられるように総合的な予算規模を計画して順次計画的に執行していく必要性を感じますが如何でしょうか。</p>
<p>集会所は地域住民にとってコミュニティを形成するため非常に重要な施設となっている。移管を実施する理由を教示願う。また、移管を実施しなければならない場合も管理費用を含め地元住民と十分協議を行ってほしい。</p>

担当課	情報政策課				
基本理念	4 進化するまち	基本方針	(8) 行橋版スマート&コンパクトを実現する		
施策項目	⑱ デジタルテクノロジー・データの横断的な活用と整備				
事業名	電算基幹システム標準化業務				
事業概要					
標準化対象20業務+αにおいて、令和7年度（2025年度）末までにガバメントクラウドを活用した標準準拠システムに移行できるよう、必要な作業を行う。					
事業の進捗状況	その理由（課題あり、廃止検討中を選択した場合は記入してください）				
課題あり	国の方針が変更されたり、仕様対応が困難な事例が発生したりと、前途多難である。システムベンダーの作業が大幅に遅れている。				
R6当初予算（千円）	R6決算（千円）	R6職員給与（千円）	R7当初予算（千円）	R7特定財源（千円）	R7一般財源（千円）
60,359	59,863	4,920	397,854	233,563	164,291
成果指標名			R5（目標）	R6（目標）	R7（目標）
			0	0	
システム移行率			R5（実績）	R6（実績）	100%
			0	0	
R6年度の取組み及び評価					
全自治体初めての取り組みなので手探りではあるが、進行はしている。					
今後の改善点					
0					

意見記入表

委員意見

全自治体の取り組みであるため市の大幅な遅れによる支障はないのか。いつ頃までの完成を目指しているのか。

- 市民が見た時にも分かりやすいような文言で記載した方が良いと思う。
- 「ガバメントクラウド」や「システムベンダー」という用語を用いずに、説明する文章とする方が、市民理解を得やすいと思う。

担当課	学校管理課				
基本理念	3 ゆとりあるまち	基本方針	(3) 子どもが元気に育つ		
施策項目	② 子どもの自立心・創造性の育成支援				
事業名	小中学校長寿命化改修事業（仲津小学校体育館）				
事業概要					
<p>老朽化した小学校体育館施設の長寿命化改修を行うことで、安心安全な教育環境整備を実施いたします。また、長寿命化改修では基礎や骨組みだけを残し全体を改修することで、工期の短縮と事業費の抑制につながります。また今後40年の使用を想定しております。（長寿命化に係る構造体の補修：鉄筋の腐食対策、接合部の破損補修）</p> <p>・令和6年度：実施設計 ・令和7年度：改修工事</p>					
事業の進捗状況	その理由（課題あり、廃止検討中を選択した場合は記入してください）				
課題あり	アスベスト建材残存の発覚により、R7は一旦見送りになったため。				
R6当初予算（千円）	R6決算（千円）	R6職員給与（千円）	R7当初予算（千円）	R7特定財源（千円）	R7一般財源（千円）
14,978	44,443	554	0	0	0
成果指標名			R5（目標）	R6（目標）	R7（目標）
			—	—	
改修完了			R5（実績）	R6（実績）	100%
			—	—	
R6年度の取組み及び評価					
小学校の体育館を改修することによって、安全性の確保、美観の形成による教育効果の向上が期待されます。					
今後の改善点					
計画的な長寿命化改修工事を実施し、施設の適正な管理に努めます。					

意見記入表

委員意見

【小中学校長寿命化改修事業（仲津小学校体育館）】
学校の体育館は授業や教育活動で使用するだけでなく、災害時の避難場所としても大変重要なインフラです。予算が限られているとは思いますが、地域住民の方のためにも、緊急性があると思いますので、可及的速やかに整備を検討ください。

体育館建設当時の図面を見れば当然、アスベストが使用されていたことは分かっていたと思います。アスベスト建材残存の発覚はいつだったのでしょうか。今後、アスベスト除去の予算を計上して工事を施行する以外ないと思います。

学校の体育館の空調設備の設置については児童・生徒の健康面はもちろんのこと、災害時には体育館を避難場所として使用することも多いため、国においても推進している。市においても計画的に整備されていると聞いているが、特に改修時には併せて整備してほしい。

担当課	建築政策課				
基本理念	1 ゆとりあるまち	基本方針	(2) 心豊かに楽しく住まう		
施策項目	③ 集約型都市づくりと選ばれる住環境の形成				
事業名	市営住宅長寿命化改修事業				
事業概要					
<small>○市営住宅の長寿命化に向けた改修設計、改修工事 ○耐用年数が超過し、危険な市営住宅の解体</small>					
事業の進捗状況	その理由（課題あり、廃止検討中を選択した場合は記入してください）				
課題あり	・国の交付金を財源の一部としているが、交付金配分額が不足する年がある。				
R6当初予算（千円）	R6決算（千円）	R6職員給与（千円）	R7当初予算（千円）	R7特定財源（千円）	R7一般財源（千円）
98,936	6,072	7,134	200,473	165,454	35,019
成果指標名			R5（目標）	R6（目標）	R7（目標）
			0.28	0.2	
長寿命化計画達成率(R2～R11)(R6～R15)			R5（実績）	R6（実績）	R7（実績）
			0.28	0.02	0.25
R6年度の取組み及び評価					
令和6年度に予定していた長寿命化工事の外壁改修について、国の交付金配分が不足し、歳入が確保出来なかったため実施を見送った。 ※行橋市営住宅長寿命化計画の見直しを5年を目途に行っており、令和5年度の見直しに伴い計画期間も更新されたため、令和6年度計画の目標・達成率が下がっている。					
今後の改善点					
「行橋市営住宅長寿命化計画」に基づき事業を継続する。					

意見記入表

委員意見
<p>住宅の維持のための改修には費用が掛かり、予算も限られているので、事業が思うようにはかどらないのは仕方がないと思います。安全、安心な最低限の生活のためには、耐用年数の過ぎた建物の安全点検は最優先してほしいと思います。</p>
<p>市内には昭和団地など老朽化した市営住宅が点在していることをみるとその維持管理には相当な予算が投入されているだろうとは予想をしていましたが、長寿命化工事はあくまでも一時しのぎの対策にすぎないと思いますが、令和7年度予算で2億円もの予算計上されていることから考えると財源の問題はありますが、いっそ現状を取り壊し新築に変えるのも（前提は今後も市民のニーズがあること）一案かとも思いますが、そのような考えはあるのでしょうか。</p>
<p>住宅の維持のための改修には費用が掛かり、予算も限られているので、事業が思うようにはかどらないのは仕方がないと思います。安全、安心な最低限の生活のためには、耐用年数の過ぎた建物の安全点検は最優先してほしいと思います。</p>

担当課	建築政策課				
基本理念	1 ゆとりあるまち	基本方針	(2) 心豊かに楽しく住まう		
施策項目	③ 集約型都市づくりと選ばれる住環境の形成				
事業名	耐震促進事業				
事業概要					
<p>○各種補助金の交付による間接補助の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造戸建て住宅耐震診断費補助金 ・木造戸建て住宅性能向上改修工事費補助金 ・木造戸建て住宅建替え等に伴う除却工事費補助金 ・ブロック塀等撤去補助金 <p>○耐震意識の啓発・知識の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納税通知書、市報へのチラシ・パンフレット封入 ・庁内パネル展示 					
事業の進捗状況	その理由（課題あり、廃止検討中を選択した場合は記入してください）				
課題あり	・間接補助について、国の交付金を財源の一部としているが、交付金配分額が不足する年がある。				
R6当初予算（千円）	R6決算（千円）	R6職員給与（千円）	R7当初予算（千円）	R7特定財源（千円）	R7一般財源（千円）
8,271	4,374	6,458	8,234	5,060	3,174
成果指標名			R5（目標）	R6（目標）	R7（目標）
			4件	4件	
耐震(性能向上)改修補助件数			R5（実績）	R6（実績）	4件
			1件	3件	
R6年度の取組み及び評価					
住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づいた取組みを継続的に実施し、納税通知書への耐震化事業チラシの封入や、1階フロアの電子掲示板に耐震事業案内の掲示を行い周知に努め、相談や耐震診断実施には繋がったが、耐震改修件数の目標達成には至らなかった。					
今後の改善点					
令和6年度の補助要綱見直しにより耐震改修工事とともに行う省エネ改修工事も対象に補助可能とした。今後も継続して周知に努めることで、所有者の耐震に関する意識付けを行っていく。					

意見記入表

委員意見
<p>能登半島地震で古い木造家屋の倒壊被害の深刻さが改めてクローズアップされている。福岡県においても木造家屋の約20%が新耐震基準を満たしていないといわれている。目標達成に至らなかった理由を検討し、さまざまな対策を講じてほしい。</p>
<ul style="list-style-type: none">・R6年度の取組み及び評価：「・・・周知に努め、相談や耐震診断実施には、繋がったが、【交付金配分額の不足により】耐震改修件数の目標達成には至らなかった。」と加筆した方が良い。・今後の改善点：「補助要項の見直しにより・・・」や「周知・・・所有者の耐震に関する意識づけ」という文言があるが、結局、今回目標達成できなかった理由は、「使いづらい制度だったから（対策→要項の見直し）」なのか、「所有者の意識の低さ（対策→意識啓発の教科）」なのか、「国の交付金の不足」なのか、どれなのか？・市民から見て、何が理由で目的達成ができなかったのか、それに対してR7年度はどのような改善策をとるのか、課題に対応した記載が求められる。
<p>最近全国各地で頻発する地震の中での耐震化する事業は重要であると理解します。民間よりも公共施設の耐震化が必要だと認識しますが現在の進捗状況は如何なっているのでしょうか。課題としているように限られた予算内での対応ではありますが、民間住宅棟はあくまでも自己責任で実行すべきものであることから、市の助成金はあくまでも所有者の耐震化への意識向上と実施を誘発するきっかけとして、現在取り組んでいるあらゆる媒体を使ってPRを推進してほしいと思います。</p>
<p>行橋市は海岸線も長く、南海トラフ地震の被害が心配されるので、耐震事業は速やかに進めてほしいと思います。近年防災意識が高まってきており、耐震関連の補助のニーズはあると思うのですが、補助件数が目標達成に至らないのであれば、住民まで届く周知の方法の更なる充実が望まれるのではないのでしょうか。</p>

担当課	建築政策課				
基本理念	1 ゆとりあるまち	基本方針	(2) 心豊かに楽しく住まう		
施策項目	③ 集約型都市づくりと選ばれる住環境の形成				
事業名	セーフティネット住宅事業				
事業概要					
住宅確保要配慮者との相談対応及び居住支援の実施					
事業の進捗状況	その理由（課題あり、廃止検討中を選択した場合は記入してください）				
課題あり	・相談内容によって、対応部署が異なるが、スムーズな案内が出来ないケースがある。				
R6当初予算（千円）	R6決算（千円）	R6職員給与（千円）	R7当初予算（千円）	R7特定財源（千円）	R7一般財源（千円）
98	56	615	100	0	100
成果指標名			R5（目標）	R6（目標）	R7（目標）
			協議会設立	協議会設立	
居住支援協議会設立もしくは協議会に代わる取組み			R5（実績）	R6（実績）	協議会設立
			0	0	
R6年度の取組み及び評価					
住宅確保要配慮者を含めた、市営住宅入居希望者等に対する相談対応は随時実施。 セーフティネット住宅事業について、県居住支援協議会への参加等、事業の流れ確認しつつ検討したが、居住支援協議会の設立には至っていない。					
今後の改善点					
福祉部局との連携や国の動向を注視をしつつ、居住支援協議会設立について継続して検討を行う。					

意見記入表

委員意見
<ul style="list-style-type: none">• なぜ、R5より「協議会の設立」を目標に政策に取り組んでいるのに、達成できないのか？を「課題」として明記すべき。• 福祉部局との連携がなぜとれていないのか？、連携するための障壁は何なのか？を明らかにし、改善点に明記しなければ、2年間できなかったことを、R7の単年度だけで実現できるとは思えない。• 事業概要が「住宅確保要配慮者との相談対応及び居住支援の実施」と記載してあるが、確認であるが「相談対応・居住支援を実施」するのは市職員がするという理解で正しいか？成果指標としては「協議会設立」としているのに、協議会がその相談窓口、居住支援の実施主体となることを想定しているのであれば、事業概要としては「相談対応・居住支援をできる地域組織？団体？の設立を支援する」というような表記の方が適切なのではないだろうか？
住宅確保要配慮者の件数と居住支援協議会が設立に至らないのは何が支障になっているのか教示願う。
全国的に、特に都市部において、一人老人が賃貸住宅に入居を拒否される事例が発生しており社会問題となっています。これは、身寄りがなくて保証人もいなく経済的な問題と入居後の孤独死などの対応可能性を考えての理由だそうですが、高齢者老人に限らず人間が生存するには住居は不可欠であり必要なものであります。投資において、老人の入居希望者にはこのような問題は発生してないのでしょうか。また市営の住宅に一人世帯の老人が入居希望の際にはどのような対応をしているのでしょうか
セーフティネット住宅事業は、他の市町の取り組みを側聞すると大変有意義な事業と思います。そのためにも一件でもよいので、モデルケース・モニターを作って実施してみてもどうでしょうか。具体的な成果や課題がわかると進行しやすいのではと考えます。
「セーフティネット住宅事業」ですが、相談窓口・対応部署は一本化することが望ましく、居住支援協議会設立について継続検討する方向が良いと思います。また、その結論はいつ頃を予定されていますか。

担当課	建築政策課				
基本理念	1 ゆとりあるまち	基本方針	(2) 心豊かに楽しく住まう		
施策項目	③ 集約型都市づくりと選ばれる住環境の形成				
事業名	空き家・空き地対策事業（実施計画）				
事業概要					
<p>○空家管理の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空家対策適切な管理が行われていない空家等所有者への助言・指導等 ・条例等に基づき、老朽危険家屋に対して除却費用の助成 					
事業の進捗状況	その理由（課題あり、廃止検討中を選択した場合は記入してください）				
課題あり	・人口減少の影響もあり、空き家空き地は今後も増えていくことが予想される。				
R6当初予算（千円）	R6決算（千円）	R6職員給与（千円）	R7当初予算（千円）	R7特定財源（千円）	R7一般財源（千円）
3,301	3,271	6,150	4,904	2,250	2,654
成果指標名			R5（目標）	R6（目標）	R7（目標）
			10件	10件	
除去件数			R5（実績）	R6（実績）	15件
			8件	10件	
R6年度の取組み及び評価					
<p>利活用については福岡県空き家活用サポートセンター（イエカツ）と空き家相談会を共催しており、令和6年度は14件の募集に対し12件の相談を実施した。空家の除却費用補助に関して、市ホームページ掲載等により補助の問い合わせがあり、対象となった物件の解体等に繋がった。</p>					
今後の改善点					
市報掲載も含め、除却の補助制度に関する周知及び適切な管理がされていない空き家所有者等への通知を継続して行い、空き家解消促進を図る。					

意見記入表

委員意見
<p>市内の至る所で、空き家が増えていると感じます。実際に解体費用がかかるのでためらっているという声を聞くこともあります。本事業の除去費用の助成は件数は増えていますが、もっとニーズが在りそうです。事業のPRを、引越し、8月や12月の帰省などの時期に集中して行うなど広報の充実が望まれます。</p>
<p>空き家は、高齢化により今後ますます増加するのは、必至であり悩ましい問題であると認識します。当市の現在の空き家は約1,000件程度と認識していますが、特に市の北西部地域などが顕著だと思えます。予算的には除却の補助金が30万円と聞いていますが、所有者の責任においての取り壊しとは理解しますが、これでは空き家取り壊しに積極的に対応するとは思いませんが、助成金の増額の方向性はあるのでしょうか。</p>
<p>・事業の進捗状況：課題あり→「空き家空き地は今後も増えていくことが予見される」とあるが、これは「課題ではなく、現象である」。課題として、記載するのであれば、「今後も増えていき、予算内での除去件数の上限に限界がある」とか、「今後も増えていき、新たな空き家所有者等が増加していくため、空き家の除去費用補助制度について広く周知しなければならないという課題意識がある」など、「今後増えていくことで、本事業を遂行する上で何が課題となっているのか、もう少し踏み込んで記載した方が良い」。</p>
<p>全国的に増え続ける空家や管理不十分な家屋、建て替えの必要なマンション等の対策は困難な課題であるが、急務となっている。今後も増え続けていく空家、空地対策の見通しと有効な手段について教示願う。</p>